



学校だより

いちいの木

学校教育目標

「ふるさと 富士山に 学ぶ子」

重点目標

「いっしょに
一生けんめい」

小山町立須走小学校

令和2年7月号

子どもと真剣に向き合いまじろう

校長 青木 元広

毎日ご家庭で、子どもと向き合っていると、対応に困ることも多いのではないのでしょうか。特に最近のようなストレスがたまる状態では、子どもとの口論なども起きがちではないでしょうか。

幼い時には、大人の意見を通して子どもを従わせられても、子どもの内面が成長すると、自分の理屈を持って大人に向かってくるようになります。そして、理不尽だと考えることは、大人に対しても反抗的になることもあります。

私たち大人は、子どもに負けるわけにはいかないと思うので、理屈で返そうとします。そうすると、さらに負けじと子どもも言い返します。これが、親子けんかに発展し、ふてくされたり、口も利かないなど、負の連鎖が止まらないことがあります。

果たして私たち大人は、子どもとどのように関わったらいいのでしょうか。かくすぐでねじ伏せれば良いのでしょうか。

それとも、子どもの言うとおりに、主張を叶えてやればいいのでしょうか。

私の考えはどちらもノーです。特に前者の場合は、子どもとの人間関係が悪化し、やがては暴力などの問題につながりかねません。後者の場合は、子どもに我慢する気持ちを育めず、気に入らないことはやらないような子どもから大人へ向かっていくかもしれません。

私は、子育ての基本は、まずは子どもへの思いをしっかりと聴いてやることです。一だと考えます。子どもの思いを認め、受け入れながらも、親として、人として、これだけは譲れないという時は、毅然とした態度も必要になります。その「毅然」は決して暴力ではありません。

例えば、「ネット依存症」や「ゲーム障害」という、スマホやゲームのやり過ぎをやめたいような場面があります。どう子どもに指導しますか。与える責任は保護者にあります。

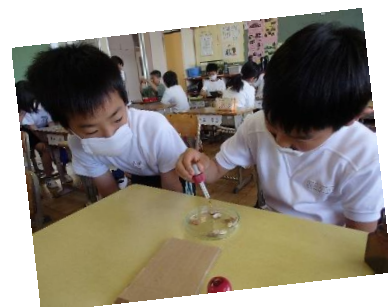
やはり、まずは使用する上で時間や使用場所等の約束を、しっかり話し合う必要があります。その中で、やってはいけない、個人情報や悪口・噂の拡散など、それがなげいけないことなのかをじっくり話します。子どもとの話合いで決めた約束を守れたら、自分で管理できていることを褒めます。できなかった時には毅然とした対応が必要です。少なくとも、何かを買ってやるというような物やお金などでの交換条件はよくありません。いつの間になしくずしになるか、要求がエスカレートすることになります。

今こそ求められるのは、親子の真剣な対話です。テレビやスマホを消し、一週間に一度は、五分でいいので目と目を合わせて語り合いましょう。まずは、心を寄せて聴くことからです。



1・6年ペア顔合わせから

6月の学校の様子



学校ボランティア募集のお知らせ

新型コロナウイルス感染防止策として、毎日、職員による消毒・清掃作業を行っていますが、手が足りないのが現状です。そこで、保護者の方、須走小学校区にお住まいの地域の方から、学校ボランティアを募集したいと思います。内容等は下記の通りです。御協力いただける方は、学校（教頭：75-2730）まで御連絡ください。

- 1 活動日 7月15日～8月5日までの間の毎週水曜日
児童下校後の 15:00～16:00
- 2 活動内容 ・校舎男女トイレの清掃と消毒